

Close-up



夏休み子ども消費者講座を開催しました

8月2日、ふらっとにっぽりで、「夏休み子ども消費者講座」が開催されました。小学1〜3年生を対象とした午前の部では、「おこづかいから学ぶお金の話」と題して、講座が行われました。参加者は、消費者としての基本的な知識を身に付けられるよう、貯金箱の工作をしたり、おこづかい帳を使って、お金の大切さや使い方について考え、楽しく学んでいました。

[問合せ]消費生活センター ☎内線477



◀ファミリーカーの貯金箱に色を塗りました

▶おこづかい帳でお金の大切さを学びました



町屋図書館で開館50周年記念イベントを開催中！

町屋図書館は、令和8年10月1日に開館50周年を迎えます。さまざまなイベントを開催しているので、ぜひ、行ってみよう！

期間●12月13日(日)まで

場所●町屋図書館

内容●



①お祝いメッセージを書こう！

館内で配布するメッセージカードに、町屋図書館への「おめでとう」の気持ちを書こう。

②ぬりえをやってみよう！

50周年を記念した、特別なぬりえにチャレンジしてみよう。

10月1日(木)から、①または②の参加者に「町屋図書館特製キーホルダー」をプレゼント！

※なくなり次第終了(1人1個まで)

③「50年のあゆみ」を見てみよう！

開館から今までの歴史を、写真やパネルで振り返ろう。

④おすすめの本の展示コーナー

「町屋」、「荒川区」、「50」、「昭和」など、50周年に関係する本を集めて紹介します。

[問合せ]町屋図書館 ☎(3892)9821

日暮里道灌まつり開催！

日時:10月31日(土)午前10時〜午後3時 場所:日暮里駅前イベント広場

室町時代に江戸城を造ったといわれている武将・太田道灌。太田道灌ゆかりの地の自治体などの皆さんと一緒に、名産品の販売やステージイベントを行う、日暮里道灌まつりを開催するよ。

新作の紙芝居の上演やステキな名産品の販売など、盛りだくさんのイベントだよ。また、10月1日から太田道灌の活躍を都電荒川線の車内で紹介する「都電紅葉・太田道灌号」を運行予定！ぜひ、遊びに来てね！

太田道灌ゆかりの自治体などによる販売

ご当地グッズなどの名産品、荒川区ゆかりの江戸東京野菜である三河島菜の販売などを行います。



ステージイベント

おまつりを盛り上げる演目をたくさん用意しています。今回は「お城博士ちゃん」も来るよ！



手作り甲冑着付けと武者メイク体験

神奈川県伊勢原市の伊勢原手作り甲冑の着付けや「顔師」宮田肇さんによる武者メイクも体験できるよ！



三河島(現在の荒川地域)に残る「山吹の里伝説」とは

鷹狩りの途中で雨に降られた道灌が民家に雨具の「蓑」を借りに行くと、その家の少女は「蓑」ではなく山吹の花の枝を差し出しました。道灌は腹を立てて帰りますが、兼明親王の古歌「七重八重 花は咲けども山吹の 実のひとつだになきぞ悲しき」に基づいて、「蓑」が無いのを「実のひとつだになき」にかけていたものだったと知り、和歌の知識がなかった自分を恥ずかしく思いま。この出来事がきっかけで道灌は和歌の勉強に励んだ、という伝説があります。



新 あらかわ 今昔ものがたり 諏訪台の楽しみ



[問合せ]荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



「日ぐらしの里名所ひとり案内」部分(東京大学総合図書館蔵)

ここはどこでしょう？ この絵はどこを描いたものかわかるかな？ 江戸時代の名所を描いた絵なんだけど。難しいかな？ 真ん中の建物は諏方神社。その左は境内だよ。諏方神社は台地の上にある。東側は崖だよ。またの名を「諏訪台」といって、江戸名所の一つだったんだよ。

崖の上から見る 青い丸のところで何か棒みたいなものをのぞいている人がいるよ。「とうめかねミせる」って書いてある。望遠鏡が置かれていたんだ。ここから遠望で見晴らせば、他に比べるものがないほどの、美しい風景が広がっていたんだって。大和郡山藩下屋敷だった六義園(文京区)にいた、ご隠居大名の柳沢信鴻さんが、この遠眼鏡を実際にのぞいたことを日記に書いて

いるよ。12 km くらい向こうの国府台(千葉県市川市)、数百mを隔てた田んぼの馬、あるいは歩く人の衣服や目鼻もよく見えただって(「松鶴日記」天明8(1788)年5月4日条)。今と違ってビルが建っていないから、遠くまで見えただね。眼がよかったのかもしれないけれど。崖の上から投げる 赤い丸のところでは、何か投げている人がいるよ。「かわらけなける」って書いてある。土器っていうのは小さなお皿。それを崖の上から投げていたんだ。ただ遠くまで投げるのが楽しかったんだって(「東都歳事記」)。崖の下にいる人は迷惑だよ。みんなはまねしちゃいけないよ。

崖の上から空を見上げる 諏訪台が、ひときにぎわった日があったよ。毎年旧暦7月26日の二十六夜待ちの日だ。特殊な月の光の中に、阿弥陀如来が観音菩薩・勢至菩薩を従えて、あらわれるんだって。この日、境内には出店も並んでいたようなんだ。え、今も出店が並んでいるって？ そう、次の日27日は、諏方神社のたいさいじつ。今も8月最終週の土曜・日曜の祭りの日に出店が並んでいるのは、その名残といえるかもしれないね。